

## 調査実施にかかる業者選定について

### 1. 連携計画策定の背景

瑞浪市では、現在 9 路線 33 系統の自主運行バスを運行しており、利用者数は目標（平成 25 年度：12 万人）に対して、平成 24 年度時点で約 10 万人となっています。運行開始から路線の拡充を背景としてこれまで利用者数を増やしてきましたが、近年は少子化の影響などにより、利用者数が減少しています。

現状では、主に利用者を対象としたアンケートの実施や、各地域の代表者・医療機関関係者等を委員とする検討会により、継続的な路線の改善が図られていますが、さらなる課題として「地域の多様なニーズへの対応」「収益力強化」「路線バスとの接続性の向上」などが挙げられます。また、現在市内に 5 つある中学校を 2 つに順次統合する予定であり、通学の足の検討も急務となっています。

そこで、現行バス路線の再編成、デマンドバス等新たな交通システムの導入、スクールバスの活用など、瑞浪市の実情に合った地域公共交通総合連携計画を作成することを必要とします。

### 2. 方針

連携計画を策定する上で、本会議における協議の他、アンケート調査等の実施、基本方針及び路線案の作成、会議運営の支援事業等をコンサルティング会社に委託することとします。コンサルティング会社の取りまとめられたアンケート結果、分析結果等を基に、本会議、幹事会にて計画案の検討を行います。

### 3. 委託業者選定方法

コンサルティング会社の選定に際しては、プロポーザル方式（提案型）により選定を行います。過去に同様の計画策定を行った事業者の方がより効率的に事業を進められることから、県内市町村で実績のある事業者を事務局が選定し、選考対象とします。

選考に際しては、仕様書等を事務局で作成し、委託候補者を選定することとします。第 2 回会議において、正式に委託業者を決定し、国庫補助金の確定後に契約を行います。

### 4. 委託内容（案）

- ・現状分析
- ・各種アンケート調査
- ・中学校の統合に係る通学の足の検討
- ・瑞浪市地域公共交通に係る課題の整理
- ・基本方針及び路線案の作成
- ・グループインタビュー調査
- ・具体的施策の検討
- ・瑞浪市地域公共交通総合連携計画案の策定
- ・瑞浪市地域公共交通会議の運営支援等